

## <障がいのある方がつくる「まごころ製品」の認知度等について>

### 【調査の目的】

福岡県では、障がい者施設で働く障がいのある皆さんの収入向上を図るため、障がいのある皆さんがつくる製品や提供しているサービスを「まごころ製品」(※1)と名付けて販売促進に取り組んでいます。

また、「まごころ製品」ロゴマーク(※2)を公募の上決定し、「まごころ製品」の販売や提供の際に商品に貼ったりPRに利用しています。

しかしながら、「まごころ製品」(※1)の認知度は低く、障がいのある皆さんの収入向上に結びついていないことから、「まごころ製品」について、皆さんのご意見をお聴かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきたいと思えます。

### 【活用状況】

アンケート結果を、「まごころ製品」の認知度を向上する施策や、販売機会の提供場所等、効果的に事業を実施するための検討資料として活用。

(福祉労働部 障がい福祉課)

### ※1 「まごころ製品」とは

障がいのある皆さんが、まごころを込めてつくる製品や提供しているサービス。パンやお菓子、縫製品、木工品などの製品や、清掃や除草、印刷、クリーニングなどのサービス。

### ※2 「まごころ製品」ロゴマークとは

「まごころ製品」の一体的なイメージを表したマーク。



<1> 「まごころ製品」という言葉を知っていますか。

(N=329 選択は1つのみ)

知っていた	24.6%	(81名)
知らなかった	75.4%	(248名)

無回答 0.0% (0名)

<2> 「まごころ製品」を購入(利用)したことがありますか。

(N=329 選択は1つのみ)

購入(利用)したことがある	44.6%	(150名)
購入(利用)したことはない	54.4%	(179名)

無回答 0.0% (0名)

〈3〉 「まごころ製品」を購入（利用）した額はいくらですか。複数回購入（利用）したことがある場合は、1回あたりの額を選んでください。

（回答は、〈2〉で「購入（利用）したことがある」と答えた方 N=150 選択は1つのみ）

500円未満	31.3%	（47名）
500円以上1,000円未満	46.0%	（69名）
1,000円以上1,500円未満	10.7%	（16名）
1,500円以上2,000円未満	6.7%	（10名）
2,000円以上	5.3%	（8名）

無回答 0.0% （0名）

〈4〉 「まごころ製品」はどこで購入（利用）しましたか。

次の中から、購入（利用）する機会が多かった場所を選んでください。

（回答は、〈2〉で「購入（利用）したことがある」と答えた方 N=150

選択は2つまで 回答件数=201）

県庁地下1階に常設の「まごころ製品ショップ」	4.5%	（9名）
障がい者施設	26.4%	（53名）
道の駅	27.4%	（55名）
デパート、スーパー	15.9%	（32名）
県庁舎（「まごころ製品ショップを除く」）、市区町村役場	10.9%	（22名）
その他	14.9%	（30名）

無回答 0.0% （0名）

〔その他（抜粋）〕

- ・ アンテナショップ、障がいのある方が働いているお店（7件）
- ・ イベント等（10件）
- ・ 職場、学校（4件）
- ・ 公共施設（3件）
- ・ JAの野菜直売所、グリーンコープ、スーパー等の出張販売（5件）
- ・ 通信販売（1件）
- ・ 本人、知人（2件）

〈5〉 芋焼酎「自立」（※3）を購入したことがありますか。

（N=329 選択は1つのみ）

購入したことがある	2.4%	（8名）
購入したことはない	97.6%	（321名）

無回答 0.0% （0名）

### ※3 芋焼酎「自立」とは

障がいのある皆さんがまごころを込めて栽培したさつま芋（ジョイホワイト）を原料に、酒造会社の協力を得て、福岡県と県内9つの障がい者施設とが共同で開発した芋焼酎。

<6> 「まごころ製品」についてこれまでの設問以外に意見がありますか。

(N=329 選択は1つのみ)

ある	16.1%	( 53名)
特にない	83.9%	(276名)

無回答 0.0% ( 0名)

〔「まごころ製品」に対するご意見(要約・抜粋)〕

【広報活動について】

- ・ 広報活動が少ないのではないかと、広く広報活動を行ってほしい。(類似意見15件)
- ・ テレビ、新聞、ラジオ等メディアや有名人を活用したPR。(類似意見4件)
- ・ 障がい者の作った製品ということを出してもいいけど、本当に美味しいもの、良い製品であれば、皆さんが認めると思います。(類似意見)
- ・ 障がい者に対しては、本人より親御さんに対する共感等が強いと思います。そこに活路があると思います。
- ・ 宣伝の仕方に工夫が必要だと思います。特に、障がい者関係の場で宣伝するだけでなく、一般の県民やユーザーを対象にした場での宣伝が必要ではないでしょうか。その場合この製品は障がい者の方々の手によって作られたということ強調されるとより効果的と考えます。

【販売について】

- ・ スーパー、コンビニ、駅の売店等誰もが知る店で販売してほしい。(類似意見7件)
- ・ いろいろなイベントに出店してほしい。
- ・ 販売会の回数を増やし、現在までに開催していない場所を再検討するとよいと考えます。
- ・ 楽天やメルカリ、ミネなどで取扱いを始められてはいかがでしょう。
- ・ ネット販売するNPOを助成し、地域の総合売店等で販売できるよう医師会を通じて仲介する。
- ・ 障がい者が製造しているから、寄付金のようなつもりでの購入の仕方に抵抗がある。

【商品について】

- ・ シリーズものが有れば需要も生まれるのでは。
- ・ ブランドのお米を作してほしい。
- ・ 品質で勝負をしてもいい商品開発をしていいような気持ちになります。
- ・ 企業家、クリエイターと協業にて、障がい者をあまり意識しないブランドを確立する。

【芋焼酎「自立」について】

- ・ 自立では購買意欲がわからない。
- ・ 障がい者というワードをきっかけで購入させるのではなく、ブランド価値を高め、結果として障がい者だったという方向を目指してほしい。
- ・ 商品を知りませんでした。もっとテレビラジオの情報番組でPRしたらいかがでしょう。
- ・ どこで販売しているのか宣伝すべき。
- ・ 障がい者の方に作る企画はとてすばらしいと思います。しかし、芋焼酎を飲めない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。その方が作ると気持ち的に飲みたい気持ちになるし、逆に、いやな気分にもなるのではないのでしょうか。何でも、障がい者の方に作らせるのはいかがなものかと思いました。

【その他】

- ・ 障がい者の自立支援はとても大切なことであり、ある程度税金で支援しなければ、市場競争の原理だけでは難しいので、公的機関の後押しが必要であると思う。しかし一方では、自立の

ための自助努力も求められると思われ、その兼ね合いをどの程度にするのか議論が分かれるところだと思えます。

- ・ 従兄弟がアトリエヴラヴォにいますので、宜しくお願いします。
- ・ 県庁や総合庁舎と言った官庁だけではなくスーパー等でも売れるシステムの構築 消費者ニーズの把握 販売会では訪れた消費者に 製品の種類、価格、販売方法、等をアンケートする の際 障がい者自身の労働意欲の現状、人権についてのPR文の配布。
- ・ 早速HPを見てみようと思えます。
- ・ 予算の関係もあるとは思いますが、障がい者の方々が働き活躍出来るような施設をもっと多く作っていただきたいです。
- ・ 小物入れや飾り物を買いました。嘘偽りのない、損得計算のない純粹無垢な製品を見て、感動しました。
- ・ 障がい者の自主自立を掲げ、補助金削減や支援の縮小は止めて欲しい。

## 障がいのある方の収入向上、自立と社会参加の実現を目指して

### ● 販売会を開催

福岡三越において、県内の「まごころ製品」を一堂に集め、5日間の大規模販売会を開催しています。

また、県の総合庁舎17か所で「まごころ製品」の定期販売を毎月行っているほか、12月の障害者週間には県庁や県警本部でも販売会を開催しています。

### ● ウェブサイトでの紹介 (<http://magokoro-ichiba.jp>)

インターネットを通じて「まごころ製品」を購入できるウェブサイト「まごころ製品ショップ」を開設し、「まごころ製品」をカテゴリー別、地域別、施設別に分かり

やすく紹介しています。



大規模販売会



芋焼酎「自立」

(問い合わせ)  
福祉労働部障がい福祉課  
TEL : 092-643-3263  
E-Mail :  
jiritsu@pref.fukuoka.lg.jp